

事業計画書

平成31年度

平成31年4月1日から
平成32年3月31日まで

学校法人 極楽寺学園

1. 法人の概要

(1) 名 称：学校法人 極楽寺学園 【昭和 58 年 3 月 30 日法人設立】

(2) 住所等：〒 586-0017 大阪府河内長野市古野町 1 2-1

電話番号 0721-53-3170

(3) 設置する学校

学校の名称：錦溪幼稚園 【昭和 29 年 5 月 1 日設置】『定員：440名』

(4) 理事長氏名：西洞院 雄章

理事 6人、監事 2人、評議員 13人、定例理事会 年3回開催予定

(5) 教職員の状況

教職員数 18人

2. 事業の概要（錦溪幼稚園）

(1) 教育方針

（知育・徳育・体育の全人教育）

幼児教育一筋に60年の実績と伝統を活かし、何よりも子供達の安全を第一に心掛けつつ、知育・徳育・体育を三本柱にした全人教育で、人生で一番大切な幼児期に、子供達の本当の幸せを願い、幼児ひとりひとりの基礎能力を引き出し育て、大きく伸ばします。毎日の楽しい集いの中で「お話の聞ける子」「やさしい心を持って大きな声でご挨拶が言える子」「いつも元気な子」という大切な大切な目標を目指します。

(2) 学年、定員、実員（内訳）、学級数

学 年	定員（名）	認可学級数	実学級数
満3歳児	140	7	5
3歳児			
4歳児	150	5	3
5歳児	150	5	3
合 計	440	17	11

(3) 保育時間

・月、火、木、金曜日：午前9時～午後2時5分

及び第2・4水曜日

・第1・3水曜日：午前9時～午前11時30分

・土曜日：休園

・夏期休暇：7月21日～8月31日

・冬期休暇：12月25日～1月7日

・春期休暇：3月20日～3月31日

(4) 保育の概要

のの様のもとで感謝の心。

豊かな自然環境と佛（ほとけ）さまの元で生命の尊さを知り、柔軟な感受性を伸ばし、報恩感謝「ありがとう」の心を育てます。そして「姿勢を正す」「あいさつ」「お返事」「靴をそろえる」「食事の作法」などしつけ教育も取り入れ、物事に対して「けじめ」をつけるいい習慣として大切にしています。

遊びと幼児体育で体力づくり。

緑と自然に恵まれた広い2面の運動場。木陰の下のいろいろな活動の出来るフィールドアスレチックを筆頭に、楽しさ一杯の遊具は子供達の運動能力を高め、幼児体育の基本となる体力作りに役立ち、健全な心身の調和のとれた発達をはかります。楽しい体育の授業は、幼児体育専門の先生が、年齢別の目標に向かって指導します。

いろいろな事を表現します。

【描いたり造ったり】

子供達の小さな手で、いろいろな物に触れて見て、思い思いの描画活動を楽しんだり、自分で考えて、自分の力で創る事に喜びを持つ様、お友達や先生と力を合わせて頑張ります。各種の絵画展にも出品し、多くの子供達が、栄ある賞を受賞しています。

【美しく歌い、楽しく演奏】

声楽専任の先生に、正しく、美しい発声法を指導して頂き、皆で楽しく歌います。全園児が鍵盤楽器（ピアノ）を採用し、専任講師の指導でマリンバ・ビブラフォン・打楽器・ラテン楽器等の本格的な楽器に慣れ親しんで、全員参加に依る合奏を経験します。又錦溪マーチング・こども錦溪太鼓（和太鼓）を編成し、園児のリズム感や情操を育て情緒の安定をはかると共に、友達同志の協力の大切さを体得させ、協調心・集中力・持続力の養成に大きな成果を得ています。音楽発表会やその他のイベントにも出場しています。

こんな事も経験します。

■石井方式（石井教育学博士案に依る）の漢字教育（漢字仮名もじり絵本を使った文字遊び）を全園児が実践し、自分の名前・お友達の名前を漢字で表示し、漢字を通して語彙を増やしコミュニケーション能力を育てどんどん読み知能の働きを活発にし、本の大好きな子に育てます。

■知的発達教材

ピアジェ理論に基づく知的発達教材「めざましあそび」を全学年に取り入れ、あそびの中で発見し驚き感動し、真剣に取り組むことを通して「生きる力」を学んでいます。

■外国人講師に依る英会話の時間があります。各クラスの教室で楽しい時間を体験します。

■英語ツール教育

サイバードリームを取り入れ、毎日繰り返し英語とふれあい、英語の素地基礎が身につくように楽しく取り組みます。

■年長児は、パソコン教室に10名ずつ入り、専任講師に教えてもらいます。いろいろな事を楽しく、興味深く体験します。

■クッキングの時間は、お菓子作りや自分達で育てた野菜・園外保育で収穫した野菜などを使ってクッキングを経験し、食育へとつなげます。早く食べたいと楽しい時間を体験します。

■わくわく体験保育—食育保育

幼稚園という生活の場を舞台に実体験の中から学んでほしいとの考えから、自然に親しみ、子どもたちの豊かな感性を育む体験保育を取り入れていています。自分たちで育てた野菜、お米などを使ってのクッキング、お菓子づくり、絵の具まみれになって夢中で遊ぶボディペイントあそびなど子ども

たちは目をキラキラと輝かせて取り組んでいます。

(5) 保育施設

園児の安全と健やかな成長を見守って下さる河内錦溪大佛がおられる、清澄な大気と緑に包まれた錦溪山の台地 20,000㎡の南東 7,000㎡の広大な園地は、自然環境に恵まれ、活動期の幼児にとって安全と健康の立地条件を満たしています。そこに光と緑のあふれるゆとりの空間、除災与楽の「錦溪地蔵」と本園の教育目標を象徴する「園児像」が建つ、園児のふれ合い、語らいの場パティオ（中庭）を中心に、明るくモダンな鉄筋園舎（2階建て8教室1図書室3便所3階段屋上遊歩場）独立ホール（330㎡体育・音楽専用）続いて年少園舎（2教室共通便所）、正面には創立30周年を記念して新築された総煉瓦タイル張り、両面バルコニー付き鉄筋園舎（2階段1部3階6教室2便所2階段）、正面ピロティ壁面に「子供花まつりレリーフ」（2.5m×5m 鑄造）、吹き抜けドームには「飛天」の舞うステンドグラスが園児達の夢をふくらませ、豊かな情操を育てます。

新園舎にはセントラル・オフィス・ロビー受付・2応接室・医務室・休養室・お母様方の交流を深めるコミュニティルーム、螺旋階段を登ると園児の冒険心を満たすシャトーレザンファン（子供のお城）などまさに21世紀幼児教育を指向する、ゆとりとうるおいに満ちたアートフルな施設を持つ未来型幼稚園といえます。（全園舎ホール共冷暖房完備）

(6) スクールバス

専用通園バスで園児を送迎し、通園時の安全を確保すると共に周辺部の入園希望者の便宜をはかっています。（コースはお問い合わせください）

(7) 園児の安全

園児が安全に過ごせるよう、監視カメラを設置し警備員を常駐させています。又オートロックやAEDも設置しています。

(8) 預かり保育

日曜日、祝日、年末年始以外は、すべて預かり保育を実施しております。

（午前7時40分～ 午後7時まで 土曜日は午前7時40分～午後5時まで）

(9) 保育料及び諸経費

入園料	50,000円
保育料（満3歳児～5歳児）	25,700円／月額
教育充実費（満3歳児～5歳児）	2,000円／月額

(10) 行事の実施状況

- ・ 4月／入園式、春の遠足
- ・ 5月／花まつり、ふれあい給食参観、お茶つき・お茶づくり、夏野菜植え、避難訓練
1年生同窓会
- ・ 6月／身体検査、耳鼻科・歯科・眼科・内科検診、尿・ぎょう虫検査、いもほり、
小運動会、宿泊保育（年長）
- ・ 7月／七夕まつり、プールあそび、ファミリーデー
- ・ 8月／子供盆踊り、体験幼稚園
- ・ 9月／大運動会、敬老会食
- ・ 10月／ふれあい参観日、きんけいフェスタ（バザー）、消防署見学

- ・ 11月／絵画展、みかん狩り、お店屋さんごっこ
- ・ 12月／音楽発表会、成道会（じょうどうえ）、お餅つき、ファミリーデー（ファミリーコンサート）
- ・ 1月／お別れ遠足、ふれあい参観日、交通安全指導
- ・ 2月／言語発表会、涅槃会（ねはんえ）、西日本幼児合奏大会（年長児）、ファミリーデー、防犯教室
- ・ 3月／お別れ会、お茶会、卒園式
- * 毎月、身長体重測定、お誕生会、わくわく体験保育実施。
- * 個人懇談会… 4月（新入園児のみ）、7月（全園児）（必要とする時は随時行う）

（11）子育て支援活動

- ・ ちびっこデイ 毎月1回・参加費無料・当日受付（予約不要）
対象：1歳～4歳の未就園児とその保護者
- ・ 絵本の読み聞かせ&園庭開放（園庭自由遊び）毎月1～2回 雨天中止
- ・ きんけいキッズ（プレ教室）—会費：有料
火曜クラス・木曜クラス・子供のみクラス 各クラス月3回
5月～3月（8月休み） 1月より母子分離
申込み必要…年間申込み・途中入会可
対象…2歳児の未就園児親子
- ・ キンダーカウンセラー事業実施
月1回 年間12回 子育て相談実施（園外での相談もあり）
- ・ トドラークラブ（1歳児親子教室） 月1回申し込み予約制
- ・ 2歳児一時預かり（月水金） ① 9:00～11:30 ② 9:00～1:30

（12）設備関係

本年度は教育内容の充実を図るために、建物の耐震補強工事の残りの部分を10,000,000円で、教育研究用機器備品を1,000,000円で購入する予定である。

（13）長期計画

園児の安全を図るため、また幼児教育の内容の充実を図るために、長期にわたり施設設備の整備をはかってゆく。

（14）寄附金募集要綱

確実な施設運営に努め、地域の幼児教育に邁進しているところでありますが、施設設備のメンテナンスに継続して取り組むことは勿論ですが、将来の施設整備の大規模修繕等を想定した場合、財政状態は決して豊かとはいえないので、将来に備えた資産形成を模索しているところであります。そこで、今般経営努力は続けつつ、大切な子どもたちの教育環境をさらに維持向上するために、施設（園舎）を改修及び取得する資金、設備（機器備品）の更新及び充実する資金、経営を安定させる運営資金等を大阪府に特定公益増進法人の証明申請を実施し、広く地域社会に寄附金募集を下記の要領で募っていきたいと思っております。

- ・ 寄附金募集金額 50,000,000円
- ・ 寄附募集目的 施設・設備整備資金及び経営安定のための運営資金等
- ・ 寄附募集期間 平成30年4月～平成33年3月

3 財務の概要

(1) 資金収支予算書

(単位 円)

収 入 の 部	平成31年度	平成30年度
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	38,392,600	60,466,000
手 数 料 収 入	0	0
寄 付 金 収 入	300,000	500,000
補 助 金 収 入	91,510,600	62,650,000
資 産 売 却 収 入	0	0
付 属 事 業・ 収 益 事 業 収 入	24,900,000	22,800,000
受 取 利 息・ 配 当 金 収 入	1,000	1,000
雑 収 入	3,000,000	3,600,000
前 受 金 収 入	4,000,000	3,000,000
そ の 他 の 収 入	5,315,390	5,638,262
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 3,850,000	△ 2,100,000
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	22,112,155	27,643,800
収 入 の 部 合 計	185,681,745	184,199,062

支 出 の 部	平成31年度	平成30年度
人 件 費 支 出	95,000,000	89,420,000
教 育 研 究 経 費 支 出	29,400,000	30,200,000
管 理 経 費 支 出	33,400,000	31,580,000
借 入 金 等 返 済 支 出	0	1,000,000
施 設 関 係 支 出	10,000,000	0
設 備 関 係 支 出	1,000,000	1,000,000
資 産 運 用 支 出	0	0
そ の 他 の 支 出	10,070,410	8,437,179
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 4,000,000	△ 2,500,000
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	10,811,335	25,061,883
支 出 の 部 合 計	185,681,745	184,199,062

(2) 事業活動収支予算書

(単位 円)

		科 目	平成31年度	平成30年度	
教育活動収支	事業活動収入の部	学 生 生 徒 等 納 付 金	38,392,600	60,466,000	
		手 数 料	0	0	
		寄 付 金	300,000	500,000	
		経 常 費 等 補 助 金	91,510,600	62,650,000	
		付 随 事 業 収 入	24,900,000	22,800,000	
		雑 収 入	3,000,000	3,600,000	
		教 育 活 動 収 入 計	158,103,200	150,016,000	
	事業活動支出の部	人 件 費	96,000,000	90,420,000	
		教 育 研 究 経 費	39,400,000	43,200,000	
		管 理 経 費	33,400,000	31,580,000	
		徴 収 不 能 額 等	0	0	
		教 育 活 動 支 出 計	168,800,000	165,200,000	
	教 育 活 動 収 支 差 額			△ 10,696,800	△ 15,184,000
	教育活動外収支	収入の部	受 取 利 息 ・ 配 当 金	1,000	1,000
そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入			0	0	
教 育 活 動 外 収 入 計			1,000	1,000	
支出の部		借 入 金 等 利 息	0	0	
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	0	
		教 育 活 動 外 支 出 計	0	0	
教 育 活 動 外 収 支 差 額			1,000	1,000	
経 常 収 支 差 額			△ 10,695,800	△ 15,183,000	
特別収支	収入の部	資 産 売 却 差 額	0	0	
		そ の 他 の 特 別 収 入	0	0	
		特 別 収 入 計	0	0	
	支出の部	資 産 処 分 差 額	0	0	
		そ の 他 の 特 別 支 出	0	0	
		特 別 支 出 計	0	0	
特 別 収 支 差 額			0	0	
予 備 費			0	0	
基 本 金 組 入 前 当 年 度 収 支 差 額			△ 10,695,800	△ 15,183,000	
基 本 金 組 入 額 合 計			△ 11,420,000	△ 2,040,000	
当 年 度 収 支 差 額			△ 22,115,800	△ 17,223,000	
前 年 度 繰 越 収 支 差 額			△ 437,426,577	△ 416,542,941	
基 本 金 取 崩 額			0	0	
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額			△ 459,542,377	△ 433,765,941	

(参考)

事 業 活 動 収 入 計	158,104,200	150,017,000
事 業 活 動 支 出 計	168,800,000	165,200,000